

平成29年度第4回安城市地域ケア推進会議及び安城市医療・介護・福祉ネットワーク協議会

日時 平成29年7月20日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福社会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

2 議題

(1) 在宅医療を広く知ってもらうためにやること

1) 在宅医療に関するガイドブックについて(資料1)

2) 福祉まつりでのPRについて

3) 劇団の立ち上げについて

(2) サルビー見守りネットに地区社会福祉協議会担当(生活支援コーディネーター)が利用者登録することについて

連絡事項

・認知症ガイドブック(H29年度版について)

・地域包括ケア市民フォーラム

日時:平成29年7月22日(土)午後1時30分から

場所:文化センター マツバホール

講師:金子稚子(かねこ わかこ)氏

・在宅医療・介護連携推進のための研修会(資料2)

①テーマ:「地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視したリハビリテーション」

日時:平成29年8月24日(木)午後7時から

場所:アンフォーレ ホール

講師:竹田 徳則 氏(星城大学 リハビリテーション学部教授)

②テーマ:虐待についての勉強会

日時:平成29年8月30日(水)午後7時から

場所:市民会館大会議室

講師:和田 行男 氏



次回 平成29年8月17日(木)午後1時30分～3時 社会福社会館3階 会議室

ガイドブック作成スケジュール

平成29年		平成30年			
7月	9月	10月	11月～	2月	4月
<p>地域ケア推進会議</p> <p>作成目的、使用場所、内容の方向性を整理する</p> <p>↓</p> <p>項目(案)について検討(締め切り8月25日)</p>	<p>↑</p> <p>・掲載項目を決める</p> <p>・全体のボリューム(頁数)を決める</p> <p>↑</p>	<p>↓</p> <p>素案を提示する</p> <p>↑</p> <p>関係ページについて、内容を検討</p>	<p>↑</p> <p>部会からの意見を反映させる</p> <p>↓</p> <p>原稿案を作成</p>	<p>原稿案を提示</p>	
部会					
事務局			原稿案を作成		発注

在宅医療を広く知ってもらうためにガイドブックを作成するにあたって検討すること

タイトル	目的	どこで使用するか	項目 (案)	配布場所
<p>(募集)</p> <p>(案1) 安城市在宅医療ガイドブック</p> <p>(案2) 安城市在宅医療ガイドブック</p>	<p>推進会議で出した意見</p> <p>目的：在宅医療について広く知ってもらい、在宅医療を利用する人の間口を広げる。</p> <p>(市民全体へは広報あんどじょうを活用する)</p>	<p>推進会議で出した意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人会、高齢者教室 (まちかど講座) ・福祉まつりなど人が集まるところ ・ケアマネが利用者に説明するとき ・医療機関や集会所、福祉センター等に設置する 	<p>1 在宅医療と地域包括ケアシステム、医療機関の機能分担</p> <p>2 在宅医療を支えるメンバー紹介</p> <p>在宅医療</p> <p>訪問歯科診療</p> <p>訪問服薬指導</p> <p>訪問看護</p> <p>訪問リハビリ</p> <p>相談窓口</p> <p>3 介護保険サービス</p> <p>4 本人と家族へのアドバイス (リビングウィル、負担を抱え込まないこと)</p>	

(参考) 各自治体のホームページより 在宅医療ガイドブック 〇〇市 検索

自治体	タイトル	目的	概要	項目	配布場所
町田市	在宅療養ガイドブック「住み慣れたわが家で自分らしく生きていへ町田市みんなが支える在宅療養」(28ページ)	地域の在宅医療・介護について理解を深めていただくこと		<p>1 なぜ在宅なのでしょう？</p> <p>2 在宅医療を支える仕組みとは？</p> <p>3 在宅医療を応援するチームとは？</p> <p>4 在宅医療をイメージしてみよう</p> <p>脳卒中で倒れてしまったら／転んで骨を折ってしまったら／末期がんと診断されたら／認知症になったら</p> <p>5 これからを考えてみましょう</p> <p>6 お問い合わせ先</p> <p>コラム：町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト (救急医療情報キット) / 健康を維持するために</p>	高齢者福祉課窓口、高齢者支援センター
練馬区	在宅療養ガイドブック「わが家で生きる」(36ページ)	「わが家で生きる」という選択肢について考えるきっかけとなる	在宅療養は実際どのようなものなのか、在宅療養を支える様々な仕組みや自宅受付けられる医療や介護のサービスなどについて、できるだけわかりやすい表現を用いて紹介。	<p>1 こんなお悩み、かかえていませんか？</p> <p>2 在宅療養を応援する、ケアのプロフェッショナル集団</p> <p>3 実際の在宅療養って、どんな経過をたどるんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中の方の在宅療養生活 ・認知症 (アルツハイマー型認知症) の方の在宅療養生活 ・がん末期の方の在宅療養生活 ・高齢者のみの世帯、高齢者のひとりぐらしで、在宅療養は可能ですか？ <p>4 在宅療養を支えるメンバーの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お医者さんが自宅に来てくれる？ “在宅医療” とは？ ・歯医者さんが自宅に来てくれる “訪問歯科診療” とは？ ・薬剤師さんが自宅に来てくれる “訪問服薬指導” とは？ ・看護師さんが自宅に来てくれる “訪問看護” とは？ 	<p>高齢者相談センター (区内4箇所の総合福祉事務所内、支所)、敬老館、保健相談所、区民事務所・出張所、地区公民館、図書館、体育館</p>

			<p>健 現在、健康な方向け</p>	<p>・地域の相談窓口って、どこにありますか？ ・介護保険を利用しながら自分らしい療養生活を ・介護保険サービスってどんな種類があるんだろう？ 5 もっと在宅療養を知るために ・よくある！在宅療養に関するソボクな疑問Q&A ・在宅療養体験記 ・在宅療養を支えるご家族の皆様へ ・高齢者相談センター一覧</p>	<p>退 宅 健 退 宅 健 退 宅 健 健 退 宅 健 健</p>	<p>区役所、区民セン ター、保健センタ ー等)</p>
<p>札幌市</p>	<p>在宅医療ガイドブッ ク～最期まで自分ら しく暮らすために～ (24ページ)</p>	<p>長期の療養を必要とする際 や、人生の最終段階を迎える 際に自らの意思で療養方法を 選択するための手引きとして 活用していただく。</p>		<p>1 はじめに 2 在宅医療について 3 在宅医療Q&A 4 在宅医療を受けるには？ 5 退院が決まるまでにやっておくこと 6 最期を迎えたい場所は？ 7 あなたのこれからの考えを教えてください 8 あなたのこのこと 9 さくいん</p>		
<p>横須賀市</p>	<p>「最期までおうちで 暮らそう」 (28ページ)</p>	<p>在宅療養・在宅看取りを理解 してもらうための啓発冊子</p>	<p>在宅療養に関係する医 療・介護の専門職や、 保健制度など、在宅療 養の基礎的な内容を紹 介</p>	<p>エピソード①お家に帰りたいかたおじいちゃん 在宅療養ことはじめ／在宅療養と在宅看取り／あなたの意思を伝える “リビングウィル”／在宅療養を支えるスタッフと自宅でする医療と 介護 エピソード②住み慣れた我が家へ帰るために～退院前カンファレンス～ 在宅療養に関わる保健制度と費用負担／自宅での看取りにあたって/ こんな本を読んでみませんか エピソード③おばあちゃんの旅立ち 在宅療養に関する相談窓口</p>		
<p>横須賀市</p>	<p>「ときどき入院・入所 ほぼ在宅」 (24ページ)</p>	<p>介護保険制度を利用し たショートステイやデ イサービス、在宅患者 の病院の受け入れな ど、より具体的な療養 生活を紹介。</p>	<p>1 エピソード① デイサービスを利用する 2 通所サービス 3 エピソード②ショートステイを利用する 4 ショートステイやその他施設の短期宿泊利用 5 エピソード③入院が必要になったら 6 医療機関の機能分担 7 病院への入院 8 「退院する」ということ 9 介護保険サービスについて 10 介護予防・日常生活総合事業 11 在宅療養に関する相談窓口 12 こんな本を読んでみませんか</p>			

在宅医療に関するガイドブックの掲載項目について

*平成29年8月25日(金)までに高齢福祉課にご提出ください。

提出先(担当寺田) : E-mail: terada-yukiko@city.anjo.lg.jp または FAX 0566-74-6789

部会名	
-----	--

1 不要と思う項目 (○をつけてください)

	項目	理由 (簡単に)
	在宅医療と地域包括ケアシステム (イメージ図)	
	医療機関の機能分担	
	在宅医療を支えるメンバー紹介 (イメージ図)	
	在宅医療 訪問診療	
	訪問歯科診療	
	訪問服薬指導	
	訪問看護	
	訪問リハビリ	
	相談窓口	
	介護保険サービス	
	本人と家族へのアドバイス (リビングウィル)	

2 追加したい項目

なし・あり⇒下表に記入してください。

項目	理由 (簡単に)

平成29年度 研修予定 (講師等の都合により変更する場合があります)

平成29年7月20日現在

日 時	主催する部会	内 容	講 師	参加予定の部会	会 場
7 月 22 日 土 13:30～		地域包括ケア市民フォーラム 大人の『終活』新作法 ～いつか来る別れの日のために～	金子 稚子(かねこ わかこ)氏 ライフ・ターミナル・ネットワーク代表 終活ジャーナリスト	一般	文化センター マツパホール
9 月 30 日 土 14:00～		認知症を知る講演会	武地 一氏 藤田保健衛生大学 認知症・高齢診療科教授	一般	文化センター マツパホール
1 月 13 日 土 PM	病院部会	多職種ワークショップ研修会		すべての部会	八千代病院 2F 大会議室
6 月 28 日 水 18:00～	施設部会	アンガーマネジメント	由宇未空氏(アイキヤリア株式会社)	すべての部会	市民会館 大会議室
7 月 1 日 土 13:30～	医師会部会	安城市エンドオブライフ・ケア研修会	杉浦 真氏 安城更生病院在宅医療連携推進センター長	すべての部会 (定員30人)	医師会館 2F 大会議室
8 月 24 日 木 19:00～	訪問リハネット部会	「地域包括ケアシステムにおける社会参加を重視 したリハビリテーション」	竹田 徳則 氏 星城大学 リハビリテーション学部教授	すべての部会	アンフォーレ ホール
8 月 30 日 水 19:00～	グループホーム部会	虐待についての勉強会	和田 行男氏	すべての部会	市民会館 大会議室
9 月 7 日 木 18:30～	薬剤師会 ケアマネット部会	在宅薬支援における多職種連携に関する研修 会		すべての部会	市民会館 視聴覚室
9 月 27 日 水 14:00～	テイネット部会	地域との事業所(施設)との関係づくりについて		すべての部会	市民会館 大会議室
10 月 14 日 土 PM	医師会 ケアマネット部会	在宅医療におけるサルビー見守りネットの活用方 法		すべての部会	市民会館 大会議室
10 月 19 日 木 15:30～	歯科医師会	口腔ケアと嚥下での多職種連携		すべての部会	八千代病院 大会議室(仮)
11 月 14 日 火 14:00～	保健福祉部会	住民による移動支援	遠山 哲夫氏 NPO法人移動ネットあいち理事長	すべての部会	総合福祉センター 会議室3
12 月 14 日 木 14:00～	保健福祉部会	精神障害者(引きこもりを含む)への支援(関係機 関との連携、具体的なアプローチ方法について)	相談支援事業所ひだまり コーディネ ーター	すべての部会	社会福祉会館 講座室
1 月 日	ヘルパーネット部会	うつ病等精神疾患の人とのかかわり方と疾患の 基礎知識		すべての部会	市民会館 大会議室
2 月 日	グループホーム部会	薬の副作用・薬を減らすための取組についての勉 強会	医師会・薬剤師会	すべての部会	
	訪問リハネット部会	事例検討会	急性期・回復期・生活期リハを体験したセラピストを招い て、それぞれの時期のリハビリテーションについて考え る。	リハネット	
	訪問看護 ネットワーク部会	事例検討会		医師会 (検討事例に関する薬剤 師、ケアマネ等に個別に 参加依頼をする)	医師会館
	歯科医師会部会	嚥下訓練と連携について	藤田保健衛生大学病院歯科口腔外科 中川量晴氏	歯科医師会	商工会議所